

CATHEDRAL CAVE TOUR HIGHLIGHTS- JAPANESE

カシードラルケーブツアーのハイライト

PLEASE TAKE PHOTOGRAPHS BUT DO NOT TOUCH THE CAVE WALLS AND FORMATIONS.

写真撮影はできますが、洞窟の壁や地層に触るのはご遠慮ください

GRAND ENTRANCE

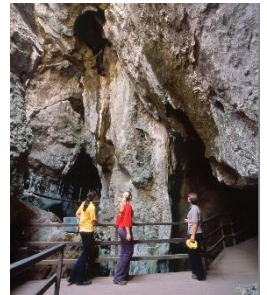
グランドエントランス

5万年前に崩壊した洞窟が、壮大な入口になっています。地面の割れ目は、イチジクの木が水を求めて地下へと根を伸ばして自然にできた跡です。黄金に輝くランの花や蝶々、イワウラビーを探してみてください。これから一時間、ツアーガイドが、現在地からライムストーンヒルの反対側へお客さまをご案内します。

SKY WINDOW

スカイウィンドウ

この洞窟はが崩壊したのは2万5千年前のことです。オーストラリアでウスバシダ（シダの一種）を見ることができるのはカプリコーンケーブだけです。1992年に現在地からカシードラルケーブまで、車いす用のスロープが設置されました。



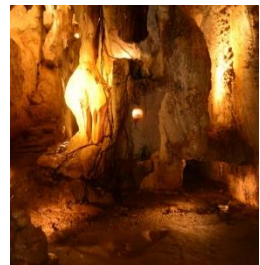
CAMEL CAVE

キャメルケーブ

ツアーで廻る洞窟の中で一番深い地点で、受付のキオスクから5メートル下に潜ったあたりになります。

サイクロンが来ると、ゆっくりと水で満たされることがあります。

キャメルケーブという名前は、発見者であるジョン・オルセンが、ラクダのような形をした流れ石を目印に探検したことに由来しています。当時はろうそくの灯りだけで、暗い洞窟の中を進んでいかなければいけませんでした。



CATHEDRAL CAVE

カシードラルケーブ

高くそびえるドーム型の洞窟では、非常に素晴らしい音響効果が生み出されます。結婚式の会場としても人気が高く、5月と11月には地下でのオペラ演奏が開催されています。



天井から地下へと伸びる木の根の長さはなんと20メートル。地下水を求めて、20メートルの深さがあるコウモリの糞の層を突き抜け、下へと伸びていきます。

カシードラルケーブの外へつながっているトンネルは、人によって作られた唯一の通り道です。1903年に、コウモリの糞を採掘する労働者が手押し車を使い、掘りおこしたものです。

BELFRY CAVE

鐘楼の洞窟

オルセン一家は、1882年に、この歴史的な場所で初めて洞窟を発見しました。カプリコーンケーブは南回帰線上にあるので、12月の正午には太陽の光が洞窟の中へ垂直に差し込み、夏至の光が美しく輝きます。



木の根が鐘楼のひものようにぶら下がっており、小さなコウモリが止まっているのが見えるかもしれません。

ZIG ZAG PASSAGE AND SUSPENSION BRIDGE OPTION

ジグザク通路と吊り橋（オプションとなります）

ツアーの最後に、自分で探検してみるのもいい思い出となるでしょう。狭いジグザグの通路を通り抜け、吊り橋を渡ってみませんか。オルセン一家は、この狭く曲がりくねった通路を、ろうそくの灯りだけで通り抜けたそうです。オプションなしの場合は、カシードラルを抜け、斜面を下ってください。ガイドが誘導いたします。



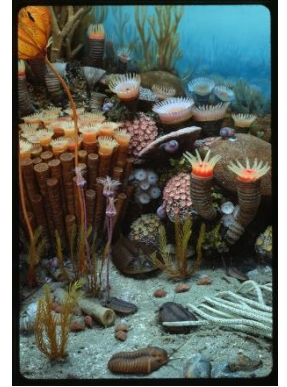
CAPRICORN CAVES STORY

カプリコーンケーブについて

CAVE FORMATION

鍾乳洞のでき方

3億9,000万年前、この地域はサンゴ礁と火山からの噴火物で覆われた海でした。死んだサンゴは海底の泥と混じり、石灰石となります。地殻運動により石灰石岩が押し上げられ、割れ目から入り込んだ雨水と地下水がカルサイトを溶かし、鍾乳洞ができました。溶けたカルサイトは再び堆積して風変わりな形となり、見学者の目を楽しませています。



例) 鍾乳石、ケーブコーラル (コブのような岩石)

CAVE DISCOVERY

鍾乳洞の発見

1881年、ノルウェイのオルセン家はカプリコーンケーブを発見し、1890年に政府から自由土地保有権を与えられました。今日では、カプリコーンケーブは、自由土地保有権の敷地にある、オーストリアで唯一の私有の鍾乳洞です。オルセン家は見学者に鍾乳洞を開放。橋をかけ、1960年代には電灯も設置しました。その鍾乳洞を Augusteyn 夫妻が購入したのは1998年のことです。宿泊施設とアウトドア用のレクリエーションアクティビティを追加したのも彼らです。Augusteyn 夫妻は多くのツアーリズムの賞を獲得し、エコツアーリズムの認証評価を促進しています。



BATS AND OTHER ANIMALS

コウモリと他の動物

昆虫を食べるコウモリは5種類見られ、特に夏の蒸し暑い日に鍾乳洞を利用します。最もよく観察されるのは、ユビナガコウモリで重さはわずか7gm。最も珍しいのは70cmの翼幅をもつ、肉食の偽吸血コウモリです。他にもヤブツカツクリ、ハリモグラ、イワワラビー、ポッサム、カエルなどの動物が森に住んでいます。



FOREST AND FERNS

森林とシダ

気候の乾燥が進むのに従い、植物の姿は、湿度の高い熱帯雨林から乾燥した雨林へと変わっていきました。山火事、雑草、サイクロンにより、雨林の存在は脅かされています。シダの *tectaria devexa* は、スカイウィンドウへと避難しました。非常に弱い植物で、「絶滅の恐れのある種の回復プログラム」の対象となっています。



MEGA FAUNA

巨型動物類

ブリスベンのクイーンズランド博物館の古生物学者は、化石堆積物を発見しました。化石堆積物は、50 万年の熱帯雨林動物相から 20 万年前の乾燥した動物相、そして現代に至るまでの、オーストラリアの洞窟での古生物学的な最長記録となりました。ティラコレオ、タスマニアンタイガー、巨大竜の化石も見つかっています。これらの化石は、大きな気候変動や動物の絶滅、近代オーストラリアの生物の進化が起こった証拠と考えられます。FOSSIL TOUR では、化石について説明を行い、フクロウにより運ばれコウモリの糞で覆われた、小さな骨の発掘場所を見学します。

